

者	帶	運	官	副	長	隊

東地區作命第八號

東地區隊命令

島 元 一 〇 〇 〇

軍、防衛部署一部ヲ變更シ旅團ハ此ニ伴ヒ新防

衛作戰地域ニ轉移ス

地區隊ハ獨混四旅作命第一三號ニ基キ新配備地

ニ移駐セントス

各隊、一月三十一日二三〇〇以降左記時刻ヨリ現在

地ヲ出発東海岸道ヲ經テ二月一日及三日、天明迄

新防衛地ニ到着ス如ク前進スハシ

左記

出發時刻

隊名

一月三十一日 二三〇〇

本部 第八中隊

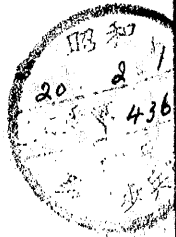
3MG

一月三十一日 二四〇〇

第七中隊

二月一日 二〇〇〇

第九中隊



四 服裝、軍裝トシ携行彈藥糧秣、左記ニヨルベシ

左記

(1) 小銃 一二〇、輕機 三六〇、重機 一二〇〇、

(2) 糧秣 甲 三日分

五 軍需品輸送、夕ノ左記、通荷馬車ヲ配當ス、

左記

本部 四臺、第七中隊 三臺、3MG 二臺

六 菊池主計中尉、新防衛地ニ先行シ、舊白部隊ヨリ糧秣

其他諸品ヲ繼承スヘシ、

七 各隊、救護班ヲ編成シ、部隊ハ後方ヲ前通セスヘシ、

山元軍醫中尉、大隊救護班ヲ編成大隊、後尾ヲ前

進セシムヘシ、

尚衛生下士官一ヲ第九中隊、救護班ニ配屬スヘシ

八 渡邊少尉、島袋ニ位置シ、偵探隊及物品監視ノ

各隊残置者ヲ併セ指揮スヘシ、追及、時刻ハ別命ス、

尚一月三十一日二〇〇。以降、獨立混成第十五聯隊残置部

隊指揮官、指揮下ニ入ルモノトス、

九 各隊、偵探隊、外物品監視、夕ノ下士官一、兵四、

ヲ残置シ、渡邊少尉、指揮ヲ受ケシムヘシ、

〇 吉田主計曹長、残務整理終了後、直ケニ部隊ヲ追及

スヘシ、

二 各隊ハ行動ヲ秘匿シ行軍間、警戒ヲ嚴ニスルト共ニ空

襲下、損害ヲ皆無ナラシムヘシ、

三 余ハ島袋本部ニ在リ、三十一日二四〇〇。本部ト共ニ新防衛地ニ至ル、

東地區隊長

尾崎大尉

下達法

口達筆記

配賦先

指揮下一般

報告(通報)先

四 GBS 南北地區隊

移駐ニ伴フ軍需品其他ノ處理ニ關スル指示

尾崎部隊

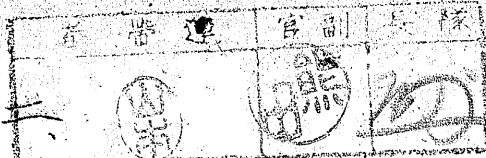


一、軍需品ノ處理

1. 兵器彈藥ノ現狀裝備ノ儘ヲ全部携行スベシ
2. 糧秣ハ主食十日副食ハ現在保有量全部ヲ携行スベシ
3. 被服需品ハ現在保有量全部携行スベシ
4. 木材其他ノ築城築營材料、薪炭等ハ新配備地ノ狀況ニ鑑ミ現在地ニ於テ獲得シ輸送力ニ許ス限リ送附シ補強ヲ期スモノトス

二、輸送

1. 陸上輸送機關トシテ旅團ヨリ自動貨車ニ台配當セラル使用期間ハ自一月三十日至二月三日 五日間トス
2. 各隊ノ自動貨車ノ最大能力ヲ發揮セシムル為急速ニ左記場所ニ軍需品ヲ集積スベシ



左記

仲順集積所

具志川集積所(俱樂部) 第九中隊

五本部 第七第八中隊 3MG

3. 貨車、既當及積載貨物、順序、貨物搭載官、指示

ニ依ルベシ

自動貨車ヲ以テ輸送未了、資材ハ車道附近ニ集積

シ、爾后輸送ニ便ナル如ク準備ニ置クベシ

三、輸送準備間殊ニ輸送前後軍需品、先ニ襲撃ニ對スル處

置テ徹底ニ彈藥糧秣等、寸時ト雖モ分散秘匿ニ

輸送中空氣襲下、損害ヲ徹底的ニ避クベシ

四、土地、建物、借上料(賠償)等、支拂ヒテ確實ニ一般

住民ニ皇軍トシテ、信賴及好感ヲ感得セシムベシ

五、細部、各隊長ニ於テ指示スベシ

以上

獨混四旅作命第一三號(了)

獨支混成第四十四旅團命令

一九四〇。〇。〇

旅團ハ伊豆味ニ在ル第一作業隊ヲ復取セシ

メントス

第一作業隊長ハ現代採作業ヲ國頭支隊ニ移

讓シタル後速カニ其ノ兵力ヲ原所屬部隊ニ

復取セシムヘシ

復取ノ為ノ兵力輸送ハ司令部ニ於テ担任ス

三細部ハ松下大尉ヲシテ指示セシム

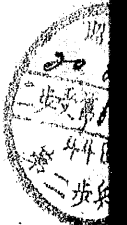
者	帶	連	官	副	長	隊

獨混五作命第三三號

南地區隊命令

二一四〇〇
嘉部

- 一 地區隊ハ太平洋方面ノ情勢ニ鑑ミ速急ニ戰鬥準備ヲ完整セントス
- 二 各隊ハ速ニ戰鬥態勢ニ移行スルト共ニ晝夜兼行陣地構築ヲ強行シ二月末迄ニ之ヲ完整スベシ
- 三 各隊ノ戰鬥準備ハ現態勢ニ於テ即時戰鬥開始ヲナレ得ル如ク施設ノ漸次之ヲ強化シ戰鬥指導ノ方針ニ合致セシムベシ
- 四 本部各隊ハ通信施設及ヒ彈藥糧秣戰鬥資材ヲ情勢即應ノ配置ニアラシムベシ
- 五 本部町及島袋附近ニ在ル殘置物件ハ成レ得ル限リ速ニ現守備地ニ招致シ兵力ヲ所屬ニ復歸セシムベシ
- 六 各隊ノ所在部落ノ防衛隊ニ青年訓練生ニ徒住民ノ戦力



化ヲ急速ニ完整ニ戰鬥任務ニ基ク訓練ヲ強行スベシ
七、余ハ玉城國民學校ニ在リ

南地區隊長 美田大佐

下達法 印刷配布
配布先 各隊
報告通報先 各隊
第廿七連絡基地大隊

軍事機密

者	帶	連	官	副	長	隊

獨混四旅旅命第二四號(6/10)

獨混成第四十四旅團命令

二、一四一五〇〇
高平戰鬥司令部

旅團ハ情勢ノ緊迫ニ鑑ミ下士官候補者ノ集合教育

ヲ解散セシメントス

旅團下士官候補者隊長ハ三月十四日ヲ以テ下士官候補

者ノ教育ヲ中止シ各々原所屬部隊ニ復返セシムヘシ

旅團長 鈴木少將

下達法 電話后印刷交付
既賦先 15Gis, 22, 77As,
報告先 32A

極秘

伊飛設命第九五號

伊江島飛行場設定隊命令

十月三日 飛行場

器械

陸軍兵長 山地 覺

馬車

陸軍二等兵 植田 一郎

雜效

同 弘田 繁隆

頭書ノ通作業隊各隊助手ヲ命ズ(十月十日附)

大城 清一

北地區作命第十一號

北地區隊命令

西原 一三〇

旅團關係兵團及海軍ト緊密ナル協同ノ下ニ重

點ヲ玉城村及大里村ニ保持シ敵ヲ海岸地帯ニ擊

滅スルト共ニ要地ニ對スル對空挺戰關ヲ準備ス

又中城灣ヲ制厭ス

獨立速射砲中隊ハ主力ヲ以テ山嶺井附近ニ陣地ヲ

占領シ主トシテ北地區隊正面ノ對戰車射擊ニ任ズ

大隊ハ北地區隊トナリ一部ヲ以テ上與那原津波右

北方高地ヲ前進陣地トシ尚古堅西方高地ニ對

空挺戰關據點ヲ占領セシメ主力ハ西原南方地區

ヨリ雨気森林ヲ經テ山嶺井西方高地ノ線ニ亘リ堅固

陣地ヲ占領セントス

火網ノ前端ノ概本與那原一佐敷道ノ線トス

者	連	副	長

(細部、現地指示)

隣接部隊、戦闘地域、境界左、如シ

南地区隊、戦闘地域、新里北方、七〇〇米

稻福北側、大城西端、上流、線(線六南地区

隊ニ屬ス) 六十二師團、戦闘地域、津堅島、與那原部落

島袋西北、十字路、喜原武東端、山川西北

國場川橋梁、線(線六北地区隊ニ屬ス)

旅團豫備、地境、與名堂屋取、中程、大城

各西端、線

三、第九中隊、右第一線主カヲ以テ西原南側地区ヨリ

其、東北方高地帯ニ堅固ニ據點陣地ヲ構築スベシ、

尚一小隊ヲ以テ津波古北方高地ニ前進陣地ヲ構築

スルト共ニ一部ヲ以テ雨乞、林東側地区ニ火カヲ指向

ニ得ル如ク陣地ヲ構築スベシ

細部、現地ニ於テ指示ス

四、第八中隊(一連)、中第一線雨乞、森林及其南方高地

ニ堅固ニ據點陣地ヲ構築スベシ、特ニ西中隊正面

ヲ側防スル如ク火カヲ準備スベシ

細部、現地ニ於テ指示ス

五、第七中隊、左第一線、嶺井北方及其西方高地

右堅北方高地ニ亘リ堅固ニ據點陣地ヲ構築シ

獨立速射砲ト共ニ與那原方向ヨリ豫期スル對戰

車戦闘ヲ準備スベシ、特ニ六十二師團ト連絡ヲ密ニスルト共ニ火カヲ同

方面ニ指向シ得ル如ク準備スベシ

六、井本中尉、部下小隊ヲ以テ西原東南方高地ニ

細部、現地ニ於テ指示ス

一 據點陣地ヲ構築スベシ
 二 連携ヲ爲シ同方面ヲ側防スル
 三 火方ヲ準備スベシ
 四 細部ハ現地ニ於テ指示ス
 五 第三機關銃中隊ハ其ノ分隊ヲ以テ井本小隊
 六 正面ニ陣地ヲ占領シ津波古南方地區ニ其ノ他、火
 力ヲ第第九中隊正面ニ指向シ水際戦闘ニ協力シ得
 ル如ク陣地ヲ構築スベシ
 七 吉富少尉ハ機關銃四銃ヲ以テ主トシテ第七中隊正
 面ノ戦闘ニ協力シ得ル如ク陣地ヲ構築スベシ
 八 細部ハ現地ニ於テ指示ス
 九 大隊砲小隊ハ西原東北方凹地附近ニ陣地ヲ占領
 十 對艦艇射撃及水際地帯ニ現出ヲ豫想スル敵
 重火器ヲ求メテ撲滅スベシ

九 第一線中隊戰鬥地境

井本小隊 津波古南方—西原南方六〇〇米片黑線路ト村
 第九中隊 境界線ノ交點
 第八中隊 板良敷南端—大里南端
 第七中隊 與那原東端—大里北端
 一 獨立歩兵第二大隊第三中隊ハ古堅土西方地區ヲ占
 領シ獨立速射砲ト共ニ與那原方向ヨリ豫期
 スル敵戰車ヲ破潰シ且大里西方地區ニ豫期スル對
 空挺戰鬥ヲ準備スルト共ニ軍砲兵ヲ援護スベシ
 二 中島中尉ハ本部所要ノ人員ヲ指揮シ西原東北
 端ニ大隊戰鬥指揮所ヲ構築スベシ
 三 山元軍醫中尉ハ守備地區内給水水源調査及水質檢
 査並ニソノガ標示ヲ實施シ大里附近ニ患者收容
 所用ノ洞窟ヲ構築スルト共ニ地方女子青年

者	帶	連	官	副	長	隊

北地區隊命令第十五號

北地區隊命令

全般情勢上明十四日朝ヨリ連續空襲ヲ受ルノ

算大ナルモノ如シ、

地區隊ハ即應、態心勢ヲ採リ戰備ヲ速進セントス、

第九中隊ハ對空海上監視哨ヲ增強シ警戒監視ヲ

至嚴ニスルト共ニ各隊ハ應急的陣地ヲ構築戰闘ヲ

準備スベシ

四、兵器彈藥糧秣ハ各陣地ニ秘匿收納シ無益ノ損害

ヲ避クベシ

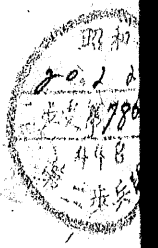
五、明物黎明時ニ於ケル炊煙並ニ曝露路燈火ヲ嚴禁ス

六、余ハ西原本部ニ在リ、敵來襲ニ當リハ西原戰闘

指揮所ニ至ル

北地區隊長

尾崎大尉



年團員ヲ以テ救護班ヲ編成スベシ
 三、菊池主計中尉ハ逐次到着セル糧秣資材ヲ西原附
 近、洞窟内ニ分散集積スルヲ共現地自治地方物資
 調査獲得ニ任ズベシ

四、各中隊長ハ陣地附近ニ組織的ニ對戰車障礙茲ニ
 因攻網ヲ設置シ徹底的敵戰車殲滅ヲ圖ルベシ

五、各隊陣地構築完成時期ハ二月下旬トス、
 陣地ハ可及的ニ既設陣地ヲ利用シ奴方ノテ洞窟式ト

シ砲爆撃ヲ對シ徹底的損害減少ニ努ムベシ

此ガ爲書夜兼行作業ヲ實施スベシ

六、余ハ西原地區隊本部ニ在リ、乙號戰備ト共ニ西原

戰闘指揮所ニ到ル

北地區隊長

尾崎大尉

下達法

各隊長ニ要旨傳達後印刷配布

配布先

指揮下一般

者	連	官	副	長	隊
三	二	一	〇	九	八

注意 本夕食時ニ於テ明朝食ヲ準備スルコト
 下達法 口達筆記後印刷交付
 配布先 指揮下一般
 報告(通報)先 四ABS 20

北地區作命第十六號

北地區隊命令

西一三二〇原

敵機動部隊ハ十四日早朝以降攻撃ノ算極メテ大ナリ、十四日〇五三〇以降南西諸島全地區丙隊戰備ニ轉移スベク發令セラル

地區隊ハ本夜對空海上警戒ヲ至嚴ニシ對空戰鬥ヲ準備セントス

各隊ハ明十四日〇五三〇丙隊戰備ニ移行シ常時情勢即應ノ態勢ニヨリ陣地構築作業ヲ續行スベシ

四 第七、第八中隊ハ其陣地附近ニ對空監視哨ヲ設置シ警戒ヲ至嚴ニスベシ

五 第三機關銃中隊長ハ真境名 東北方高地ニ對空射撃ヲ準備スベシ

六 余ハ西原戰鬥指揮所ニ在リ